
高校生活

一番の宝物

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

高校生活

【Nコード】

N8795X

【作者名】

一番の宝物

【あらすじ】

初投稿です。感想お願いします

高校生活（前書き）

感想をお願いします

高校生活

中学生…

ずっとずっと笑い

中学時代を送っていた

卒業式もなかないで、

笑って卒業した

ぼくは、仲のいい友達と

同じ高校に受かり

また、中学の時のように

笑いあうことが

できると思っていた…

高校入学式、なんだか

友達が知らない人に見えた

友達は中学時代では

つけていなかった

ワックスを付け、

髪を毎日整えてくる

ようになった

まだその時は、バカみたいにくだらないう話で

盛り上がり、笑いあうことができた

けど、日がたつにつれて

だんだん友達の性格が

変わっていき、

笑いあうことが
できなくなった

友達は、女子と毎日
メールし、話す話題は
女子のことばかり…

中学時代の友達とは
まるで違っていた

あんなのは中学時代の
あいつじゃない…
と何回思ったことか…

あの頃にもどりたい
一緒に笑いあった頃に
もどりたい

けど、もうもどることは、
できないんだ

自分の決めた道を
進むしかないんだ…

高校生活（後書き）

感想をお願いします

友達

感想お願いします
高校に入って
一人目の友達ができた

名前は音無といい
音無と同じ委員会に
入ったのが、友達になっ
たきっかけだ

音無は見た目は
ひよろひよろで、
暗そうな奴
だったが、話してみると
とてもおもしろく
いい奴だった

ある日の事だった…
ぼくと音無は他クラスの
横をしゃべりながら
通っていると、

変わってしまった友達が
ひとりぼっちで、
パンを食べていた…

なんでだ？入学当初は
あんなに友達がいたのに…
何があったんだろう？
立ち止まってぼくは、

考えた

『どした？早くいこうぜ』音無はケータイを
いじりながら
歩き出していた

いま行くと言い、
音無の所へいった…

音無と一緒に
歩いている時も、
ずっとさっきの事を
考えていた

『あいつ事気になるの？』音無にさっきの
事をきかれ、
うんと応えた

『あいつとは、初めの頃はみんなしゃべってたらしいけど、この頃
あいつの事嫌いって奴がいっぱい出てきて、みんなが無視されてる
っぽいよ！ってか知らなかったの！？ほとんどの人しってるのに』

初めて聞いた…
友達とは変わってしまったてから、一緒に学校に
行っていないため
そんな事
知るはずないのだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8795x/>

高校生活

2011年10月24日03時12分発行